

人と人との絆が人間を救う

台風23号災害から10年

平成16年10月20日、台風23号の影響で激しい降雨があり、本市は甚大な被害に見舞われました。
あの日の教訓を生かすために、防災・減災への取り組みを考えます。

台風23号災害被害状況

◆人的被害	死者7人	行方不明者0人
◆住家被害	全壊530世帯 半壊2,943世帯 床上浸水587世帯	大規模半壊1,104世帯 一部損壊292世帯 床下浸水3,543世帯
◆廃棄物	3万6千トン(現豊岡市の1年分の廃棄物量に相当)	

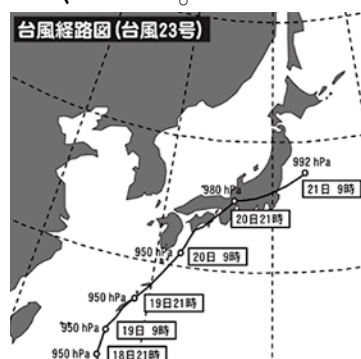
10.20 主な経過

11:00	大雨・洪水警報
13:45ごろ	低い地点で道路冠水が始まる(旧豊岡市)
15:00 ～16:10	災害対策本部設置(旧豊岡市、旧城崎・竹野・日高・出石・但東町)
15:50	避難勧告(旧出石町全域・旧但東町栗尾)
16:45ごろ	赤崎が孤立(旧日高町)
17:55	避難指示(旧出石町河川沿い低地)
18:00ごろ	出石川で破堤(旧出石町寺坂など)
18:05	避難勧告(旧豊岡市港・奈佐地区除く全域)
18:25	自衛隊派遣要請(旧豊岡市)
18:50	避難勧告(旧日高町虹の街)
19:00ごろ	八代川越水(旧日高町)
19:13	避難指示(旧豊岡市梶原など)
19:30ごろ	八代排水機場等停止(旧豊岡市・日高町)
19:40	避難勧告(旧城崎町一の湯下流域)
19:45	避難指示(旧豊岡市港・奈佐地区の宮井除く全域)
23:15ごろ	円山川立野大橋上流破堤確認(旧豊岡市)
23:15ごろ	出石川鳥居橋上流破堤確認(旧出石町)

総降水量300mm超え
～台風23号の概要～

台風23号は、平成16年10月20日13時ごろ、大型の強い勢力で高知県土佐清水市付近に上陸しました。本州の南側にあった秋雨前線を押し上げながら移動したことで、極端な大雨につながり、総降水量は、近畿北部で300mmを超えました。

本市では、20日正午ごろから雨足が強まり、降り始めから18時までの総降水量は、旧豊岡市で162mm、出石川上流の但東町出合で228mm、稲葉川上流の日高町栗野⁺で215mm、奈佐川上流の辻で226mmを記録しました。その後も激しい雨が降り続き、桜町の豊岡測候所が浸水し、観測不能となりました。



一夜のうちに泥の海

北村穂末^{ほすえ}さん(福田)

不気味なサイレンとともに、一気に水が自宅の玄関前に来ました。「荷物より、早く逃げないと」と言って、車で豊岡北中学校の避難所に行きました。真っ暗な夜でした。すでに多くの人が避難していたため、寒い中、車で一夜を過ごしました。

車の中では眠れず、そのうち夜が明けてきました。外に出て山の上から北の方を見下ろすと、一夜のうちに豊岡のまちが、茶色の海のようになっ

ていました。自宅の周辺では、50cmの水が3日間つきました。配られたおにぎりを三日三晩はおぼり、怖かった日を過ごしました。

水害のとき、一番困るのが病人とお年寄り、赤ちゃん。薬とミルクの準備、緊急時の連絡先を決めておくことが大事だと実感しました。3日分の食料があればしのげます。災害に備えて、自分の命は自分で守る自覚が必要だと胸に刻みました。



円山川が越水した結和橋西詰め
付近(城崎町来日)



崩落した道路(竹野町下塚)



土砂除去のボランティア
(日高地域)



避難所には多くの市民が
(豊岡地域)・朝日新聞社提供



大量に排出された災害廃棄物
(日高町岩中)

平成 16 年 10 月



堤防の決壊で濁流が流れ込む
(出石町鳥居)



土石流で破壊された建物
(但東町奥赤)



堤防の決壊で広範囲に浸水
(梶原など)



災害廃棄物仮置き場
(日高地域)



多くの自治体に支えられた
(豊岡地域)

本市の災害対応への基本的な考え ＝自助・共助・公助＝

自然の脅威

台風23号のように、一時間に20～40mmの雨が降り続けると、各地で浸水被害や土砂災害が発生します。

国・県・市では、堤防を築き、山の斜面を補強していますが、自然の脅威は想像を超えることがあり、災害を完全に防ぐことはできません。

また、特に大規模災害の場合、自衛隊や警察、消防などが、災害発生時にすぐに駆けつけ、全ての人を救助することは困難です。公助には限界があります。

そこで、自らの命は自分で守ること(自助)が重要です。日頃から非常時持出し品の準備や早めの避難を心掛けてください。

また、一人暮らしの高齢者や障害がある方などは、周りの人の支えが必要です。自分たちの地域は自分たちで守るという気構えで、共に助け合うこと(共助)が必要です。